

SEP.30.2017

# MarineReport

平成29年度半期マリン・レポート



**静岡県信用漁業協同組合連合会**

当ディスクロージャー誌は当連合会が自主的に開示するものであります。  
本資料に掲載の計数につきましては、平成29年度仮決算に基づくものであり、会計監査は受けておりません。  
記載金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しておりますので合計が内訳数値の合計と一致していない場合があります。

## 事業概況

### 貯 金

組合・関係団体と連携した事業推進活動を展開するなか、貯金キャンペーン活動・公金貯金の獲得により、平成29年9月末貯金残高は平成29年3月末対比で270億円増加となる1,454億円の実績となりました。

### 貸 出 金

漁業者・水産加工業者に対し、静岡県及び農林中央金庫の利子助成制度を活用した漁業近代化資金の利用促進を展開しました。しかしながら、近年の厳しい漁業実態による資金需要の低迷等により、平成29年9月末貸出金残高は平成29年3月末対比で6億円減少となる272億円の実績となりました。

### 収 支

中期経営計画・事業計画にもとづき、事業量の確保、経費の節減に取り組んだ結果、平成29年度上半期事業実績につきましては、当期剰余金1億6千3百万円を計上することができました。

## 主要な取組み

平成29年度は、「中期経営計画(平成28～30年度)」の2年目として、計画基本方針に基づき、会員・関係団体等との一体的な連携体制の強化を図るとともに、漁協・漁業者・水産加工流通業者から必要とされる金融機関であり続けるため、事業収益基盤の確保、経営の合理化・効率化を進め、水産金融機能が発揮できる体制に向けて諸施策に取り組んで参ります。

### 経営基盤の整備・強化

- (1) 会員等との連携体制の維持・強化
- (2) 県下水産業振興への貢献
- (3) 店舗運営・業務管理体制の整備・強化

### 経営の健全性確保

- (1) JFマリンバンク基本方針の遵守
- (2) 法令等遵守態勢維持・強化(コンプライアンスプログラムに基づく取組み)
- (3) リスク管理態勢の整備(リスク管理態勢の見直し)
- (4) 財務基盤の充実

### 事業収益基盤の強化

- (1) 事業推進強化による貯金・貸出金の増強
- (2) 余裕金運用強化

## 主要勘定残高の状況

(単位:百万円)

	平成29年3月末	平成29年9月末	前期比
貯 金	118,400	145,400	27,000
借 入 金	3,400	3,900	500
貸 出 金	27,950	27,287	▲ 663
預 け 金	94,810	120,684	25,874
有 価 証 券	499	2,884	2,385

## 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	平成29年3月末	平成29年9月末	前期比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,186	1,237	51
危険債権	748	756	8
要管理債権	147	465	318
計	2,082	2,458	376
正常債権	25,902	24,866	▲ 1,036
合計	27,984	27,325	▲ 659

平成29年9月末の債権額は次の方法により算定しています。

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは破産、会社更生、再生手続等の理由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
- 「危険債権」とは債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権をいいます。
- 「要管理債権」とは基本的には、リスク管理債権の「3ヶ月以上延滞債権」、「貸出条件緩和債権」に該当する債権をいいます。
- 「正常債権」とは債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権をいいます。

## 自己資本比率の状況

(単位:%)

	平成29年3月末	平成29年9月末	前期比
自己資本比率	16.89	15.17	▲ 1.72

## **MarineReport**

お問い合わせ先 静岡信漁連 総務部  
〒420-8644 静岡市葵区追手町9番18号  
TEL : 054-273-4414 FAX : 054-255-3051